

『和解の務め』音信 (17-1) Ministry of Reconciliation in South Africa

これらのことはすべて、神から出ているのです。神はキリストによって私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました (II コリント 5:18)

宣教同労者の皆様の上に、父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安が豊かに臨まれることをお祈りいたします。2017年になって、もはや2月になりました。今度、多くの教会、信徒の方がクリスマスカードをお送りくださり、誠にありがとうございました。そのカードは日本から約1ヶ月掛かって1月末ごろ届きましたが、それでもなお、しもべたちは大きな励ましを頂きました。心より感謝いたします。

1. 南アフリカ改革教会の礼拝と教会生活の様子 (1)

これから2ヶ月に1回、「和解の務め」音信をお送りする予定ですが、音信の始めの部分ではこちらの生活様子や地理、文化などを紹介することにしたいと思います。今度は自分が経験した南アフリカ改革教会、ことに、ステレンボッシュ教会の礼拝と教会生活をご紹介します。まず、主日礼拝のことですが、礼拝は大体朝9:30から始まります。クリスマス(12月25日)と聖金曜日(受難日)、昇天日だけ朝9:00から礼拝が行われ、それ以外は朝9:30が殆どの教会で定着されているようです。これはオランダ改革教会でも同じです。日本では朝10:30が殆どの教会で定着されていることと似ています。



ステレンボッシュ改革教会

主日礼拝の前、子どもたちの為の教会学校はありません。以前ポチェフトロムにおった時は、主日礼拝の前、カテキズム クラス (Catechism Class) がありましたが、こちらでは見たことがありません。

礼拝の司会と礼拝の中での祈りは牧師だけが司り、信徒の礼拝プログラムへの参加は殆どありません。ただ教会の牧師が出かけて他の説教者が立つとき、礼拝の前と後、その主日の責任長老が説教者の紹介をしたり、感謝の言葉を述べたりするだけです。勿論、その日の礼拝司会と祈りは立たせられた他の説教者が担います。

面白いことは、祝祷あるいは祝福の言葉は礼拝前後、2回行われるということです。礼拝10分前からパイプオルガンの前奏があり、礼拝者たちは心の準備をします。定刻になると、説教者が講壇に上り、会衆を歓迎する言葉を述べた後、前の祝祷をしますが、言葉は大体パウロ書簡の前の挨拶と同じです。その後、会衆全体が起立して詩編と聖書箇所



会堂内 前部

の賛美を2~3曲歌います。そして信仰告白が付いて来ますが、時には説教者一人で、時には会衆全体で使徒信条を告白します。たまには、ニケア信条やアタナシウス信条が告白される場合もあります。その後、会衆は座り、説教者は律法(十戒の一戒め、あるいは律法的な聖句)を読んでから牧会祈祷をします。次は聖書朗読、かなり長い講解説教、その後、祈りと起立賛美、献金、また起立賛美、祝祷、アーメン頌が行われます。これで礼拝は終わりますが、その後報告が行われます。全部で1時間半は十分掛かります。勿論、時には特別プログラム、例えば幼児洗礼式、信仰告白式、年4回の聖餐式、長老・執事任職式などが説教の前あるいは後、行われます。

礼拝と報告の後、お茶会があります。当番によって予め用意されていたコーヒーやお茶、そしてラスク(ビスケットのような物)を自由に取りながら、交わりをします。愛餐会は毎週行われず、年数回行われるということでした。

夕拝は午後6：30からありますが、以前と違い、今は朝の礼拝に来られなかった大学生たちや大人たちが参加する礼拝となっています。言わば、2部礼拝のようなもので、メッセージは朝と同じです。以前、ポチェフストロムにおった時は、午後4：00から会衆がもう一度集まり、夕拝を捧げたことを覚えております。その時、ある年はハイデルベルク教理問答を順番に説教を通して学んだこともありました。今度はこのぐらいにして、同じタイトルのご紹介は続けてまいりたい所存です。

2. 路上の教会(Street Church)へのアウトリーチ



オランダ改革教会
によるアウトリーチ

ここで働いている知人の宣教師が毎週主日行っている路上のアウトリーチに行ってみました。その宣教師はそれを「路上の教会」Street Churchと呼んでいました。彼は、たとえしっかりした礼拝建物がなくても毎週主日、礼拝に来る人々は教会だという認識を持っていました。そこはステレンボシュの近郊、黒人の村の入口でしたが、黒人の村とはまた違う、ホームレスの小さい集落のような場所でした。クリスマスが近づいた頃、あるオランダ改革教会の地域教会からそちらにアウトリーチに来るということで自分たちも参加してみました。路上の教会は朝9：00より始まり、礼拝は大体30分ぐらい行います。暑い外ですのでそれ以上は無理かも知りません。その後、用意して行ったパン、果物、衣服などを配るそうです。私たちも以前、東京墨田川の河川敷で行ったアウトリーチを覚えて、暫く路上の教会に月1回参加する予定です。そこで未熟なアフリカンス語でも伝道メッセージを行う機会が与えられました。



伝道説教の様子(金師)

3. 今年の主なる活動計画

今年の主なる活動計画をお伝えいたします。

- ・ステレンボシュ改革教会の設立50周年記念キャンプ参加(2月中)
- ・ケープタウンにあるカラード人の地域、ミッチェルスプレーン(Mitchells Plain)への訪問と探索(2月中)
- ・「路上の教会」への定期的な参加と奉仕(月1回、年間)
- ・ブスター(Worcester)にあるライフスタイル・クリスチャン・アカデミー(Lifestyle Christian Academy)へのボランティア奉仕(月1回、年間)
- ・子どもたち(娘家族、息子)の訪問(4月初)
- ・パウロ宣教会のアフリカ圏域大会参加(5月中半)
- ・モラビアン定着村とクリスチャン・キブツツ訪問(3月中)
- ・ポチェフストロムとヨハネスブルク訪問(上半期中)
- ・ステレンボシュにおける国際ミニストリーの模索(年間)
- ・南アフリカを始め、アフリカ地域リサーチと資料収集(年間)
- ・ミッション・ハウス設置の計画と準備(年間)

4. 祈禱課題

信仰の執成しは力があることを信じます。祈禱課題を申し上げますので、宣教同労者の皆様のご加禱を宜しくお願い致します。

- 1) 南アフリカ改革教会ステレンボシュ教会、そしてボランド地区会と良い協力関係が結ばれるように。
 - 2) ライフスタイル・クリスチャン・アカデミーと「路上の教会」へのボランティア活動が祝福されるように。
 - 3) 一つひとつの歩み、活動が主の導きに沿って行われるように。
- 最後に、宣教同労者の皆様に聖三位の神の御祝福をお祈りいたします。

南アフリカ、ステレンボシュにて 金煥・朴貞玉より